

古くて新しい

文化 なかの

中野市公民館報



講師から助言を受けながら布ぞうりを編む参加者

2008

No.43
(通巻No.575)

10

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号

TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

北部公民館講座

布ぞうり教室

北部公民館は8月28日、9月4日、11日(全3回)生きがいづくり講座「布ぞうり教室」を開きました。

講師に中野広域シルバー人材センター手芸クラブの皆さん7人を迎え、参加者20名が賑やかに布ぞうり作りを楽しみました。

参加者は、各々の家庭から古い布を持ち寄り、3回の講座で一足の新しい布ぞうりを見事に編み上げました。

今月号の特集

編集委員体験取材

ふるさと冒険クラブ

あおぞら

二十数年間にわたり、一日たりともポケットから消えることのなかった煙草とついに決別しました。

どんなに忙しい時も、

風邪で寝込んだ時もせつせと毎日吸い続け、今までの人生で一万箱近く、約二百万円に火を点け煙に変えてきました。

過去に何度も禁煙に失敗した経験があつたので、今回は禁煙ガムやパイプ等、あらゆる禁煙グッズを取り揃え、一ヶ月かけて煙草をやめる事に成功しました。

結構な出費になりましたが、一ヶ月もあれば元が取れるんですよね。「他に楽しみが無いんだから煙草くらい」とか「俺は太く短く生きるんだ」なんて粋がっていました。最近医療技術の進歩によりそう簡単に死なせてくれませんか。半死半生の人生を送るより楽しく健康な日々を過ごしたいですから、煙草をやめれば最近のガンリンの値上げにもおつりが来ちゃうんですよ。ちよつと得した気分です。

(く)

絶対泣いてはいけない学校キャンプ

学校使って冒険



校内かくれんぼ(上)・夕食のカレー作り(下)

「ふるさと冒険クラブ」が9月6日(土)旧市川小学校(野沢温泉村)で学校キャンプを開催すると聞き、取材をしてきた。

10時30分に現地到着し開講式、昼食などの後、いよいよ「校内かくれんぼ」が始まった。校内は非常に蒸し暑かったのだが、子ども達には全く関係なく、汗だくになって、普段なら怒られる様な場所に隠れたり、大変楽しそうだった。次はチームごとにゲームを解いて、夕食の食材を獲得する「食材ゲットのウォークラリー」だ。獲得点数が高ければ、高級な食材が得られるため、みんな真剣。各チーム様々な食材を獲得し、夕食のカレー作りだ。

高級肉からソーセ

ージ、なかには大根まで入ったカレーと各チームごとに個性的なカレーが出来上がり。食材は各チームごとにいろいろだが、自分達で作ったカレーの味は抜群!空腹も手伝って、みんな大満足。腹ごしらえも済み、最後は「肝試し大会」に挑戦。夜の校内は雰囲気は昼とはがらっと変化し、まるで何かを潜んでいそう。子ども達は、怖さを紛らわそうと、大声を出したり、歌ったり夜の校内に挑戦し、みんな笑顔で終了した。普段は勉強をする場所で、夜まで遊べたことに満足したであろうことは、子ども達の表情から伺えた。

「冒険クラブとは?」

元々は旧豊田村で行われていた育成事業です。合併後は全市的な活動に移しました。

春、夏、秋、冬とアウトドア企画が満載。文化的な活動も積極的に行い、教育、育成事業の一端を担っています。

「桜大捜査線」「ふるさと海賊団」「Sけんキング」「絶対泣いてはいけない学校キャンプ」と、宣伝段階で子どもたちの興味を引くよう、ネーミングも工夫しています。

企画内容はもちろんですが、何より大人と子どもがふれあいを大切に行っています。

企画の舞台は中野市内に限らず北信州全体を故郷と位置付け、湖や河川、閉校した学校など、地域の宝を有効活用して遊びます。

実行委員は中野市役所に事務局を置き、市民有志で活動しています。委員も常に募集しています。

事務局は中野市豊田支所
地域振興課 ☎ 38-3111

ふるさと冒険クラブ



【冒険クラブ】

■ウォークラリー

桜がきれいな4月は、高梨館跡公園を発着点にウォークラリーを行い、親子など130人が参加しました。

神社の龍の彫刻や、店の名前などから干支の動物たちを探すルールでゲーム性を加えました。
干支を探す捜査員となり、市街地から東山公園の史跡や神社仏閣、観光施設などを巡り、班ごとに得点を競いました。

■キャンプ

一昨年は千曲川でラフティング。低学年は夜間瀬川で川遊びを行い、河原でカレーづくりなども行いました。昨年は野尻湖でイカダづくり、海賊気分での湖畔キャンプを楽しみました。
毎年内容を変え、今年は野沢温泉村の閉校した学校を使いました。

■Sけん大会

昔、学校で流ったという遊び「Sけん」を競技化しました。S字に描いたフィールドに2



親子で楽しんだウォークラリー（4月）

■年末お楽しみ会

クリスマスと年末年始の行事である、もちつきやしめ縄づくりを学びました。

■郷土食づくり

アウトドア以外に文化的な活動もあります。笹ずしをはじめ、故郷の特色的な伝統食を親子でつくりました。
食育学習も行っています。

■雪上運動会

雪国の特徴を最大限に活かして、雪の中で楽しく遊びました。
そりレースや雪だるまコンテストなどの競技が目白押しです。

子どもたちは寒さも忘れ、雪の中へダイブしたり、タイヤチューブそりに乗ったりと夢中になっていました。



郷土料理「笹ずし」づくり

こんにちは 分館

古牧分館は、中野市北部に位置する地区で世帯数三四戸の小さな分館です。当分館での分館事業は、一月の道祖神から始まりますが区民の協力を頂き円滑に活動を行っております。

その中でも、毎年継続して

いる分館主催の研修旅行は区民全体の理解をいただきたい行っております。今年も七月上旬「しろ

古牧分館

ね大風と歴史の館」見学を兼ねて実施することが出来ました。当日は、好天に恵まれ多数参加していただきました。大風歴史館では、大風合戦の立体映像を見て魅力と迫力を実感し

ていただき、また白根大風合戦の歴史と今も新潟県の伝統行事になっていることを知ることができました。また

は、温泉で日頃の疲れを癒してもらい海の幸を満喫しつつ、区民の親睦を深めていただくことができました。 (分館長 秋山一巳)



古牧地域(正面)を望むサクラ (4月 小林弘 撮影)

ふるさととの歴史

古牧の西の台は狭い平らな地であるがここに古牧の現集落と耕地がある。西の台の西側から北端を千曲川が流れている。ここで流路が変わるので流れがよどむ「大澮」という。桜の名所でもある。千曲川は長丘陵内にあつては先行性河川(丘陵ができる前にすでに千曲川が流れていた)といわれ、西の台は千曲川によって形成された小平地だという。これをうらげけるかのように西の台の北端は見事な断崖になっている。西の台に昔から人々が住み、ここを拠点に古

牧の発展に努めてきたことを述べる。

西の台からかつては弥生時代後期の土器が発掘された。人々が住んでいた証である。古代中世にあつても人々が住んでいたと思われ、今のところ痕跡が見つかっていないので、具体的なことはわからない。

古牧の歴史と地形

とところで今の古牧の草分けと伝える野村家に永正五年(一五〇八)に建立したという石碑がある。このことはこの頃から古牧の開発が始まったこと

(一七二四)には古牧・一本木合わせて

18軒となる。残念ながら古牧だけの軒数は不明である。嘉永三年(一八五六)には26軒となる。やはり古牧だけの軒数は不明であるが、古牧の軒数は着実に増えていられると思われ。理由はそれまでの狭い西の台から夜間瀬

川洪水常襲地の落合などにまで開発を進め、耕地の増大に努めているからである。低湿地の開発はもちろん近代になってもすすめられている。

明治22年(一八八九)の長丘陵の成立に伴い、壁田村は長丘陵大字壁田となるが、古牧は依然として大字壁田の中の古牧に据え置かれた。しかし昭和29年(一九五四)の中野市の成立により古牧区となる。これを祝うように翌年には42戸となる。だが平成14年(二〇〇二)の戸数は減って34戸となる。時代の流れというものだろうか。

(田中 毅)

中央公民館 展示コーナー

フォトサクラの写真展

編集委員 だより

「岩井の秋祭り」

爽りの季節を迎え、そろそろ秋祭りの便りが届く時期である。春には豊作を祈願し春祭りが行われ、秋には豊作に感謝し秋祭りが行われる。日本古来の伝統である。

さて、岩井の秋祭りは毎年9月の第4土曜日、日曜日に行われる。実行するのは保存会ではなく、20代から30代までの若い衆からなる岩井奉神会と村の小中学生たち。獅子を舞うのも子どもたちだ。9月に入り始まった秋祭り



真剣に笛の練習をする子どもたち

の練習の様子をレポートする。

今回獅子を舞うのは中学1年と2年の男子2人。笛と太鼓は、昔は奉神会だけでやっていたが、最近では子どもたちもいっしょになってやっている。

日曜日を除く毎日、夜8時から獅子舞、笛と太鼓の練習が行われる。大人は仕事帰りが遅かったり、子どもたちにとっては遅い時間の練習のため、全員が揃っての練習はなかなか出来ない。それでも子どもたちは、大人から指導を受け、真剣に練習していた。

今年初めて笛の練習に参加した小学4年生の男の子は、「音を鳴らすのが難しい。笛の穴を指で押さえるのが難しい。」と慣れない笛に悪戦苦闘していた。また、今年で2年目になる小学5年生の女の子は、「音は鳴るけれど、細かい指の動きが難しいし、息も切れてしまう。だけど、一生懸命練習して指の動きもしっかり覚えて、当日は緊張しないできれいに吹きたい。」と抱負を語ってくれた。そして今年獅子を舞う中学1年生の男子は、「獅子舞は難しく、今はうまく出来ないけれど本番ではしっかり舞えるように頑張りたい。」と話してくれた。どの子ども皆一生懸命に取り組み、それでまた楽しんでる様子がうかがえた。

小さい頃から地域の伝統に触れ、親しむことは、地域の伝統継承としても期待がされる。当日はきつと、きれいな笛の音が響きわたり、りっぱな獅子舞ができることだろう。(a pond)



国際交流の集い

各国の料理や異文化を一緒に楽しみましょう

日時

10月12日(日) 午後2時から午後4時30分

場所

中野市中央公民館 講堂

持ち物

- ◆マイ食器 (お皿・お茶碗・箸・スプーンなど)
- ◆ごみ入れ用の袋

その他

- ◆参加費 無料 ◆申込み 不要

内容

- ★カフェテリア形式の会場で、各国の手作り料理をご用意。
- ★国旗や民族衣装、子どもの遊び等、各国の文化を紹介する展示ブースを設置。
- ★わらべうたあそび、ストリートダンス、バンブーダンス、開拓民のダンス、サンバ等、各国の遊びや踊りのお楽しみステージをご用意。
- ★会場はエコに挑戦！食器類は各自持参・ゴミは持ち帰りをお願いします。

運営

- 中国、韓国、フィリピン、ブラジル、タイ、アメリカ等、各国の皆さん。
- 国際交流実行委員会の皆さん。



問合せ先 中野市中央公民館 ☎22-2691 Fax 26-2342

花 はな 郷 さと

Flower Home



コスモスと高社山 / 若宮 (月岡尚雄)



秋 / 一本木公園 (月岡尚雄)



彼岸花 / 替佐 (@)

花と季節の写真 募集

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。

氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

宛先は中央・北部・西部・豊田公民館
☎ 383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
☎ 22・2691 (有線20691)
Eメール c-kominkan@city.nakanonagano.jp

季節のコラム

秋風やりんごの香り頬に染む

十月は、神無月「かなづき」と呼ばれています。十月になると、神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になるため、そう呼ばれているそうです。

今年の夏は、暑い日が続きましたが、収穫の秋を迎える事が出来ました。

健康食品のりんごには、品種によりそれぞれ独特の味があります。

そのりんごを拭いて、ピカピカにして丸かじりで食べた経験ある人も多いと思います。

皮と実の間に、沢山の体に良い栄養があるそうです。

中野市の木は、りんごこともみじと定められました。

おいに、りんごを食べて健康で過ごしたいものです。